

令和3年2月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和3年2月22日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室101、102

3 出席委員の氏名

教育長	山田公一	教育長職務代理者	山崎克弥
委員	中野信男	委員	秦久美子
委員	斎藤純郎	委員	小林恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主幹	鈴木華奈子
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	大森亨

5 本委員会書記

学校教育課 向井康弘 他1名

6 傍聴人

1人

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

その他

- (1) 令和3年度組織改正(案)について
- (2) その他

8 閉会

会議録

別紙のとおり

## 1 開 会 宣 言 午後 1 時 30 分～

### 2 諸報告

#### (1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

##### ○委員（齋藤 純郎）

書面会議として実施した第 3 回燕市子ども・子育て会議において、分水パステル保育園の開設に向けた進捗状況等について報告をされたとのことだが、関連した周辺の排水対策や保育園側が取り組む浸水への防災対策などの点については何か聞いているか。

##### ○子育て支援課長（白井 健次）

分水パステル保育園周辺の排水対策、防災へ対する取り組みについては、笈ヶ島地区は豪雨時に広いエリアが冠水するエリアのため、まず園舎の敷地周りに盛り土を行ってそこで浸水を防止し、さらに 100 台駐車可能な駐車場の下に貯水池を設置した。そこで冠水の際のすべての浸水が防げる訳ではないが、調整機能ということで貯水池を設置し、冠水を防止する対策を関連課とともにやっている。また防災について、パステル保育園は平屋だが一部に二階があり、二階の部分は常時、地域との触れ合いの場として使用するが、災害時には 290 人の職員、園児が垂直避難を一時的に行う対応を取らせていただく。

さらに心配される状況になった場合には、隣接する分水小学校の校舎へ避難するというので先日も分水小学校長と理事長が綿密に打ち合わせを行った。

##### ○委員（齋藤 純郎）

市は分水パステル保育園と分水小学校とともに排水対策に取り組んでいることが伝わった。排水対策を含め順調に開園できるよう願っている。

#### (2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

##### 1 はじめに

○ 燕市立保育園及び小学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況については、その都度、教育委員の皆様にも報告させていただいているところであるが、ここでは、2月20日（土）現在の状況について、改めて報告させていただく。

○ 2月20日現在の新型コロナウイルス感染者は、小池保育園関連（小池保育園

及び小池小学校)で33人、燕東小学校関連で1人となっている。

- 休園、臨時休業している保育園及び小学校の再開時期については、次のとおり予定している。

小池保育園：3月1日(月)

小池小学校：3月1日(月)

燕東小学校：2月24日(水)

- いずれの施設も、再開にあたっては、感染者が最後に在園・在校した日の翌日から起算して14日間以上の健康観察期間を設けたうえで、三条保健所の助言を受けるとともに、PCR検査で陰性だった関係者について、再度PCR検査を行い、再検査でも陰性であったことを確認した。
- 東児童クラブ及び杉名児童クラブは、小学校の再開に併せて開館する予定。
- なお、今後の感染状況によっては、休園、休業期間を延長することもある。

## 2 2月の行事より

### (1) 定例校長会(2月2日(火))、臨時校長会(2月15日(月))

- これまで定例校長会は、校長から会場に集まってもらう集合形式で行ってきたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、2月2日の定例校長会において、初めてオンラインによる会議を実施した。市役所の会議室と各学校をオンラインでつなぎ、校長は自校から会議に参加していただいた。

ちょっとしたトラブルもあったが、思ったよりはスムーズに会議を運営できたと感じている。オンラインによる会議の可能性を実感することができた。

- 2月15日(月)には、オンラインによる臨時校長会を開催し、市内保育園及び小学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況について情報を共有するとともに、一層の感染予防対策の徹底を依頼した。

### (2) 燕さくらマラソン大会実行委員会(2月2日(火))

- 燕さくらマラソン大会実行委員会が2月2日に開催され、同実行委員会は、4月17日(土)に開催を予定している「第32回燕さくらマラソン大会」について、参加者を新潟県内在住者のみに変更して開催することを決定した。

- 全国的な新型コロナウイルスの感染状況や、1都10府県に出されていた緊急事態宣言が、栃木県を除き3月7日まで期間延長されたことを踏まえ、参加するランナーや競技役員、大会ボランティアの安全を考慮した結果、大会の規模を縮小せざるを得ないとの結論に至ったもの。

すでに申し込みをしていただいた県外参加者(約290名)の参加費については、「参加費相当額のQUOカード」の送付をもって返金することとした。

### (3) 子どもを育む推進協議会(2月9日(火))

- 本年度第2回目となる子どもを育む推進協議会を2月9日に開催した。
- 昨年10月12日(月)に開催した第1回協議会では、吉田南小学校の佐藤

校長から「小学生のネット接続の現状と課題」について、実際の映像をまじえて報告していただいたが、第2回協議会では、これを受けて「SNS等の利用によるトラブル防止の取組について」を中心テーマに据え、それぞれの取組について情報共有を図るとともに、委員それぞれの立場からご意見をいただいた。

小学校長会で実施した情報機器に関するアンケート結果をもとに、家庭に対して使用ルールを決めて機器を使用するよう、学校だよりを通じて呼びかけたり、中学校区で小中学校のPTAが集まり、家庭でのルールづくりなどに関する講演会を開催したりする取組について報告があり、委員の皆さんからは、以下のような意見をいただいた。

- ・全国的な問題であり、吉田南小学校の佐藤校長を中心に現状把握していただいたのは大変良かった。中学校区での取組のように、保護者への啓発に取り組んでいく必要がある。
  - ・学校は親がやってほしい、親は学校がやってほしいという声があり、どちらも協力してやってほしいと感じている。
  - ・SNSの適正な使用については、単に啓発するだけでなく、一步踏み込んだもっと強い申し合わせとして取り組む姿勢が必要ではないか。
- いずれにしても、学校だけで取り組める問題ではないので、家庭や地域、関係機関と学校がこれまで以上に連携しながら、子どもたちをネットトラブルから守る体制を整える必要があると感じている。

#### (4) 燕の学校教育・研修成果等報告会（2月15日（月）～28日（日））

- 毎年1月に開催している燕の学校教育・研修成果等報告会について、今年は新型コロナウイルス感染症防止対策として、3密を避ける観点から、YouTubeによる動画配信により行うこととした。
- 動画の配信期間は、2月15日（月）から28日（日）までで、以下の6つの動画を配信する。
  - 地域と連携した特色ある取組（分水小学校）
  - 地域と連携した特色ある取組（小中川小学校）
  - プログラミング教育の取組（吉田南小学校）
  - つばめキッズファーム事業の取組（燕南小学校）
  - 英語教育の充実（学校教育課）
  - これからの燕市のICT教育（学校教育課）
- 視聴する際には、YouTubeで、「つばくろWeb」と検索するか、市のホームページなどからQRコードを読み取っていただきたい。

### 3 結びに

- 令和2年度も残すところあと1ヶ月となった。令和2年度末をもって退職される教職員の皆様には、長い間、園児や児童生徒の健やかな成長のためにご尽

力いただき、深く感謝している。

長い間勤める中では、苦しいことや辛いこともあったと思うが、子どもたちから多くの笑顔や感動などをもらうことで、乗り越えてこられたものと思っている。

知・徳・体のバランスの取れた、生きる力のみなぎる燕市の子どもたちの育成にご貢献いただいたことに、改めて御礼を申し上げたい。

○委員（斎藤 純郎）

燕の学校教育・研修成果等報告会の動画を YouTube で視聴したが、いずれも素晴らしい報告内容だった。中でも小中川小学校のエコバッグ推進運動は児童が地域のスーパーマーケットへ直接交渉に行き協力いただいたり、地域の皆さんから賛同をいただいたりと児童の取り組みが大きな波になって広がっていく様子が手に取るようにわかった。まさに地域と連携した特色ある取組だと思った。児童の皆さんもとても頑張ったと思う。指導された教職員の皆さん、また PTA の協力なくしても実現できなかったことなので皆さんに感謝したい。

○委員（中野 信男）

コロナウイルス感染症の関係で休園・休校となっている中で、特に保育園に園児を預けている方々には仕事があると思うが、非常に困っていると思う。市として何か支援をしていることがあれば教えてほしい。園児を預けている方々は大変だと思う。

○子育て支援課長（白井 健次）

現在、子どもサポート係で相談窓口を開設している。園児を自宅で保育するために仕事を休まなければならないという声は実際にもらっているが、それに対する支援というのはなかなか難しい。例えばできることとして弁当の配食サービスなどの情報提供を行っている。保護者の皆さまからはできるだけ早く再開できるようにしてほしいという願いが多く来ているのが現状である。苦慮されている保護者の方々に具体的なそれに代わる直接の支援ができないのは大変申し訳なく感じている。

○教育次長（宮路 一規）

保護者への支援策について補足すると、保育園の担任から 1 日 1 回程度、保護者へ園児の健康観察や家庭内保育での困りごとの連絡をさせていただき、その際の相談にも応じている。

○委員（中野 信男）

具体的な支援を考えるのは非常に難しいと思う。例えば他の保育園へ園児を預けるにしても園児が感染しているリスクもあるためそれも難しい。できる限り

色々な方策を考えて支援を行ってほしい。良い知恵があったらどんどん考えてほしい。これからもあるかもしれないのでぜひとも対応をお願いしたい。

○委員（山崎 克弥）

燕さくらマラソンの関係で、実行委員会で検討されて対策は万全と思うが、日々状況は変わってきているので、開催するというのであれば十分に気をつけて開催してほしい。県外の方には参加してもらわないということだが県内の参加者の人数はどれくらいなのか。

○社会教育課長（石田 進一）

前回大会の状況で説明をさせていただくと約 1,700 人の申込みのうち、県外は 250 人程度で県内の申込みが多数を占めている。今回は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、参加者は県内のみとさせていただいており、感染防止対策をしっかりと行ったうえで開催したい。

○委員（山崎 克弥）

開催が 4 月ということで時間的にはまだあるので十分に気をつけて開催してほしい。

(3) 寄附報告

1 件の寄附について

〈太田学校教育課長が説明〉

3 その他

(1) 令和 3 年度組織改正（案）

〈石田社会教育課長が説明〉

(2) その他

燕市立大曲八王寺保育園の給食に混入した異物について

〈白井子育て支援課長が説明〉

電子図書館と本の通帳について

〈石田社会教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

給食に異物が混入するという話は自分が就任してから 3 回目だと思うが、なぜか原因がわからないということが非常に心配である。このステンレスを使った調理器

具というのは特定できても、破損していないのに混入しているということになると他に考えられるのは納入された段階の食材の中に混入していたということは考えられないのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

備品と同様に今回はもやしや数種類の食材の納入業者にも改めて確認したが、それでも異物の特定には至らなかった。また、調理工程においても確認ができなかった。

○委員（小林 恵子）

今回の異物はかなり大きい物だったと思う。普通に見ればわかるレベルのものがなぜ配膳されたのか非常に気になる。今後はこのようなことがないようにすると良い。

4 閉 会            午後 2 時 10 分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 3 年 3 月 26 日

教 育 長 山田 公一

教 育 委 員 山崎 克弥

教 育 委 員 中野 信男

教 育 委 員 秦 久美子

教 育 委 員 斎藤 純郎

教 育 委 員 小林 恵子

会議録作成職員 竹田 亮子